

# 犬の登録と狂犬病予防注射について



## 狂犬病はどんな病気？



狂犬病は、人を含む全ての哺乳類が感染する病気です。

日本では、1957年を最後に、人も動物も国内での感染はありませんが、多くの国では今も狂犬病がまん延しており、日本にも侵入のリスクがあります。

人は、狂犬病に感染した動物に咬まれることで感染します。

狂犬病には効果的な治療法がなく、感染した人や犬は、発症すると、ほぼ100%助かりません。

万が一、日本で狂犬病が発生した場合に、犬でのまん延と人への被害を防止するため、狂犬病予防法により、犬の飼い主は、犬の登録と犬への狂犬病予防注射が義務づけられています。

## 犬の飼い主には**義務**があります！

1. お住いの市町村に飼犬の登録をすること
2. 飼犬に年1回の狂犬病予防注射を受けさせること
3. 飼犬に鑑札と注射済票を装着すること

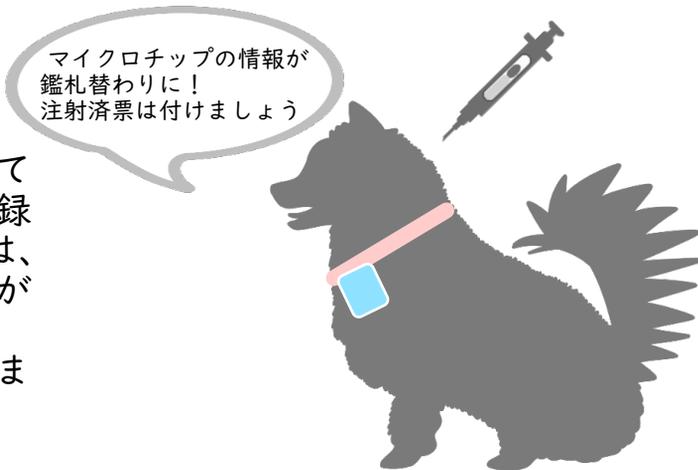


## 狂犬病予防法の特例制度

飼犬にマイクロチップが装着されており、その情報について環境大臣の登録を受けている場合、一部の市町村※では、**窓口での犬の登録手続きや鑑札の装着が不要**となります。

手続きなどの詳細については、お住いの市町村にお問い合わせください。

※ 令和7年3月現在、県内16市町村



犬を登録し、狂犬病予防注射を受けさせることは、飼い主の社会に対する責務です。

＝ 岩手県環境生活部・保健所 ＝

# 狂犬病Q & A

## Q1 狂犬病は人にも感染しますか？

**A1** 感染します。狂犬病はすべての哺乳類に感染することが知られており、もちろん人も例外ではありません。人も動物も発症するとほぼ100%死亡しますが、ヒトでは感染後(咬まれた後)にワクチンを連続して接種することにより発症を防ぐことができます。

## Q2 人はどのように感染しますか？

**A2** 主に狂犬病に感染した動物に咬まれたとき、唾液中に含まれるウイルスが傷口から体内に侵入することで感染します。

## Q3 狂犬病が発生している国はどこですか

**A3** 狂犬病は、日本、英国、オーストラリア、ニュージーランドなどの一部の国々を除いて、全世界に分布します。つまり、海外ではほとんどの国で感染する可能性があります。

## Q4 どのくらいの人が狂犬病に感染して亡くなっているのですか？

**A4** 2017年の世界保健機関(WHO)の推計によると、世界では年間におおよそ5万9千人の人が亡くなっています。また、このうち95%は、アジア、アフリカ地域での死亡者といわれています。

## Q5 狂犬病に感染した犬はどのような症状を示しますか？

**A5** 狂騒型と麻痺型と言われるタイプがあり、狂騒型では、極度に興奮し攻撃的な行動を示します。また、麻痺型では、後半身から前半身に麻痺が拡がり、食物や水が飲み込めなくなります。

## 守っていますか？ルールとマナー

### 🐾 けい留して飼いましょう

県条例により、**犬の放し飼いは禁止**されています。散歩の時も、きちんとリードなどをつけましょう。



### 🐾 所有者明示をしましょう

飼い犬が行方不明になってもすぐに飼い主がわかるように、首輪に**鑑札**や**迷子札**を付けましょう。飼い犬が行方不明になった時は、保健所や警察に連絡して下さい。マイクロチップを装着していると、飼い主のもとへ返還できる可能性が高まります。

### 🐾 繁殖制限をしましょう

不幸な命を増やさないために、繁殖を希望しない場合は、**不妊手術**や**去勢手術**を行いましょう。

### 🐾 散歩中のふんは片付けましょう

散歩の時はビニール袋等を持参し、飼い犬のふんを入れて持ち帰り始末しましょう。おしっこを人家の門や玄関先などでさせないようにするのも当然のマナーです。